

体重が減らなくて困っていませんか？

食事や運動で体重が減らず苦勞されている

BMI*が32以上の肥満症の方には

手術による肥満外科治療という治療選択肢があります。

東近江総合医療センターでは滋賀医科大学と協力し肥満外科手術を行っています。

BMI* (体格指数) とは、 $\text{体重[kg]} \div (\text{身長} \times \text{身長}) [\text{m}^2]$
という計算式で出される数値のことで、25以上になると肥満と定義されています。

例えば、
身長150cmの方は、体重 72kg以上
身長160cmの方は、体重 82kg以上
身長170cmの方は、体重 93kg以上
身長180cmの方は、体重104kg以上 がBMI 32以上です。



肥満外科手術（減量代謝改善手術）である、スリーブ状胃切除術は保険適応の治療法です。

条件：BMI32以上の肥満症の患者さんで

糖尿病 (BMI32から35であればHbA1c $\geq$ 8%)
、高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群、
非アルコール性脂肪肝炎を含めた非アルコール性
脂肪性肝疾患（いわゆる脂肪肝等も含む）のうち
いずれか2つ以上 (BMI35以上であれば1つ以上)
を合併している方（他にも条件あります）。

内科医師・外科医師・管理栄養士・看護師・
理学療法士からなるチームで医療を行います。

この手術により、体重減少に加えて
糖尿病、高血圧症、脂質異常症、膝関節痛、
睡眠時無呼吸症候群、肝疾患等が改善すること
があります。

*ご相談窓口

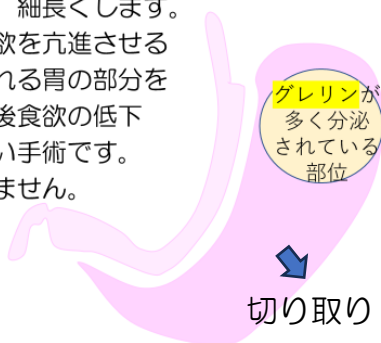
東近江総合医療センター
0748-22-3030（代表番号）までご連絡
ください。

*直接、紹介状を作成していただける場合は
おかかりつけの医院や病院から地域連携を介して、
東近江総合医療センター 肥満外科治療チーム
内科 前野 恭宏、中島 興、小田原 ゆう子
外科 山口 剛
までお願いします。

スリーブ状胃切除術

体重の減少を目的とした、胃の縮小を伴う手術です。

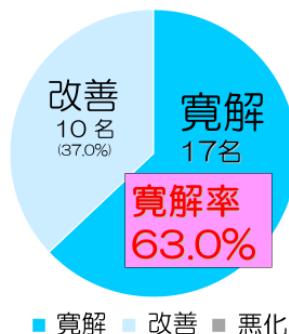
- 胃を縦に切り取り、細長くします。
- グレリンという食欲を亢進させるホルモンが分泌される胃の部分を切り取るので、術後食欲の低下を認めることが多い手術です。
- 脂肪吸引等は含みません。
- 腹腔鏡で行います。



スリーブ状胃切除後に糖尿病が寛解した方の割合

(対象:術前に2型糖尿病があり術後1年以上経過した方27名:滋賀医大)

観察期間中央値: 57(12-94) か月



寛解の定義

薬物療法なしで
HbA1c < 6.5%

*術後2型糖尿病が初診時より悪化した方はおられませんでした。